

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	愛知県岡崎市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	岡崎市文化遺産活用活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
<p>第6次岡崎市総合計画にある文化財の保存・活用に関する施策や、岡崎市歴史的風致維持向上計画（平成28年5月認定）に基づき、地域の文化遺産の後世への継承と地域の活性化及び観光振興を推進するための取組みを実施する。特に文化遺産の活用を官民一体となり取り進めるべく、総合職能組織（マイスター）を作り、文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立と地域活性化を目指す。</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各補助事業に係る指導等は以下の担当課が行う。 岡崎市教育委員会事務局社会教育課：各補助事業における文化財の取扱等に関する指導・調整等 岡崎市役所都市整備部まちづくりデザイン課：歴史的風致維持向上計画に基づいた指導・調整等 また、補助事業は次の団体が実施する。 岡崎市文化遺産活用活性化実行委員会（会長：河内利弘） 構成団体（公益社団法人愛知県建築士事務所協会岡崎支部、岡崎市教育委員会事務局社会教育課）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 8,483 千円	平成29年度申請額： 1,029 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>歴史的建造物の保存活用に関する技術や情報が広く共有され、継承者の技術が高まることと比例して文化財等の保存の意識も高まり、新たな人材の勧誘や歴史的建造物の活用につながる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	特になし		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>平成28年5月に「歴史的風致維持向上計画」が認定され、地域を巻き込んで伝統や文化を守っていこうという風潮が形成され始めている。「歴史文化基本構想」については平成29年度を事業開始年度として国の補助を要望しており、資料整理や建造物を中心とした悉皆調査を実施の上、平成32年度の策定を目指す。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	岡崎市教育委員会社会教育課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流						
評価指標区分 1 :	その他		(具体的な指標は次のとおり)				
具体的な指標 1 :	歴史的建造物やその修復等の技術を維持する団体の設立			関連事業:	岡崎景観マイスター (仮) 育成事業		
目標値 1 :	平成 28 年度		0 団体	⇒	平成 31 年度		1 団体
設定根拠 1 :	文化遺産の活用を官民一体となって取り進めることを目指し、本事業を契機とした団体の設立を目標として設定。登録有形文化財、歴史的風致形成建造物等の所有者から管理・修理に関する相談を受けて、助言や施工に関わることのできる団体として、岡崎市の歴史的建造物の維持や景観を活かしたまちづくりへの積極的な参加を見込む。						
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成	年度	平成	年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	団体		団体	団体	団体	団体	団体

様式 1 - 1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	岡崎景観マイスター（仮）育成事業	実施団体：	公益社団法人愛知県建築士事務所協会岡崎支部				
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 29 年度	～	平成 31 年度		
事業概要：	市内の多様な文化遺産のうち、建造物の保存、活用及び文化遺産の発掘、維持、修復、再生、技術の継承を進めるべく、岡崎景観マイスター（仮）を育成する。						
評価指標区分：	・その他			（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	岡崎景観マイスター（仮）登録簿への登録者数						
目標値：	平成 28 年度	0 名	⇒	平成 31 年度	70 名		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成	年度	平成	年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	名		名	名	名	名	名